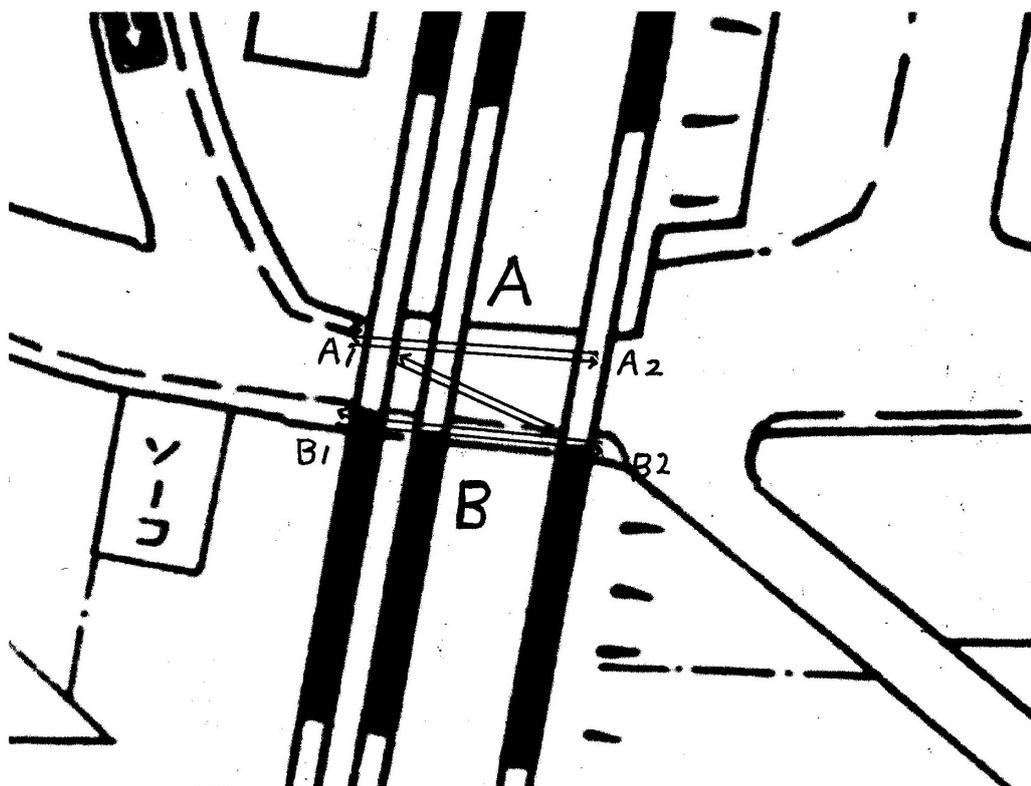


神門踏切歩行者調査

調査実施日 2010年11月30日(火)

一宮町バリアフリー協議会
エリアウォッチ研究所

神門踏切調査地点



■ 調査方法

A：踏切北側（茂原側—歩道なし）

B：踏切南側（大原側—歩道あり）

A表：A1地点（西側）→A2地点（東側）へ

A2地点（東側）→A1地点（西側）への歩行者数調査

B表：A1地点（西側）→A2地点（東側）へ

A2地点（東側）→A1（西側）への歩行者数調査

■ 調査時間

6：00～21：00（1時間単位）

■ 調査取り決め

踏切を渡りきった地点をカウント（踏み切りの中でAからBへ、BからAへの移動が見られた）

A表 踏切A側を渡った歩行者数

	A側（茂原側—歩道なし）		計
	A1（西）→A2（東）	A1（西）←A2（東）	
6:00～7:00	0人	125人	125人
7:00～8:00	9	180	189
8:00～9:00	17	51	68
9:00～10:00	15	27	42
10:00～11:00	15	19	34
11:00～12:00	9	29	38
12:00～13:00	12	10	22
13:00～14:00	11	7	18
14:00～15:00	17	12	29
15:00～16:00	17	6	23
16:00～17:00	25	16	41
17:00～18:00	46	15	61
18:00～19:00	58	10	68
19:00～20:00	87	4	91
20:00～21:00	66	10	76
計	404	521	925

B表 踏切B側を渡った歩行者数

	B側（大原側—歩道あり）		計
	B1（西）→B2（東）	B1（西）←B2（東）	
6:00～7:00	3人	36人	39人
7:00～8:00	6	172（うち小学生128人）	178
8:00～9:00	14	18	32
9:00～10:00	9	22	31
10:00～11:00	14	15	29
11:00～12:00	16	13	29
12:00～13:00	6	11	17
13:00～14:00	12	7	19
14:00～15:00	54（うち小学生49人）	12	66
15:00～16:00	51（うち小学生45人）	13	64
16:00～17:00	58（うち小学生25人）	11	69
17:00～18:00	34（うち小学生1人）	15	49
18:00～19:00	29	3	32
19:00～20:00	52	7	59
20:00～21:00	43	3	46
計	401	358	759
	集団登下校を除くと 281	集団登下校を除くと 230	集団登下校を除くと 511

現状と課題

- ① 6:00～21:00での調査では、踏切のA側（茂原側）は、歩道が無いにも拘らず歩行者数は925人で歩道のあるB側（大原側）の759人（小学生の集団登下校を除けば511人）をはるかに超えている。
- ② 6:00～8:00の間では、小学生の集団登下校を除けば、2倍近くの歩行者が歩道の無いA側を通行している。
- ③ 18:00から21:00の帰路の時間帯においても無歩道のA側の通行量をはるかに多い。
- ④ 北側にある駅に向かう横断歩道の利用者は皆無である。
- ⑤ 朝の出勤時では、B側からA側へと踏切の中での横断が非常に多い。帰路時間帯ではその現象は大きく減少している（急ぐ必要がないからと思われる）。
- ⑥ 舞台（駅東側）にある駐車場へ向かう者は100%A側を通る。
- ⑦ A側の通行者は、ほとんど電車の乗降客がらみのため、電車に乗る人と降りてくる人とのタイムラグがあり対面する事象は無かった。

上記現象から小学生の集団登下校を除いてほとんど交通法上の無法状態となっている異常な現状である。

もちろん法を守るべきであるが、この踏切周辺の交通システムは、現状の人の行動の流れと全くそぐわないのではないだろうか。

解決には法的に困難な面もあるであろうが、この危険な状態をこのまま放置することは出来ないであろう。

県、町、警察、住民の協働作業として早急に対応すべき課題と思われる。

対策の1暫定案として、2mあるB側の歩道を若干狭めAに路側帯をもうける。

農協方面からの歩道1.5mであり、急に踏切の歩道が2mとなっているため50cmはA側へ移せるのではないか。

現状このような踏切は大原町にも存在する。

パーフェクトな解決は、困難と思われるが、何らかの対策を講ずる必要があるであろう。